

平成21年度(2009年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)

日本語文化専攻論述試験問題

次の指示に従って、下記の問題(1～18)から文化系講座は2題、言語・教育系講座は4題を選び、日本語で解答しなさい。解答すべき問題の選択方法は志望講座により異なるので、注意すること。

I. 文化系講座

(1) 第1志望と第2志望が【日本語文化学講座】または【比較日本文化学講座】の場合

【文化系講座共通問題】1～6から2題選択すること。

(2) 第1志望が【日本語文化学講座】または【比較日本文化学講座】で、第2志望の講座がない場合

【文化系講座共通問題】1～6から2題選択すること。

II. 言語・教育系講座

(1) 第1志望と第2志望が【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の場合

【言語・教育系講座の問題】7～18から4題選択すること。ただし、

- ・ 第1志望講座の問題から少なくとも2題選択すること。
- ・ 第2志望講座の問題から少なくとも1題選択すること。
- ・ 残りの1題は【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の問題から自由に選択してよい。

(2) 第1志望が【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】で、第2志望の講座がない場合

【言語・教育系講座の問題】7～18から4題選択すること。ただし、

- ・ 第1志望講座の問題を3題選択すること。
- ・ 残りの1題は【応用言語学講座】または【日本語教育学講座】または【現代日本語学講座】または【日本語教育方法論講座】の問題から自由に選択してよい。

I. 【文化系講座共通問題】 1～6

【日本語文化学講座】および【比較日本文化学講座】の問題 1～6

1. 異文化理解は翻訳の仕事に似ているとしてピーター・バークは以下のように述べている。この意見を出発点として、文化を翻訳するとはどのようなことなのか、あなたの考えを述べよ。以下、ピーター・バーク『文化史とは何か』172-173頁、法政大学出版社、2008年)より引用。
2. 岡部朗一が「文化相対論」について以下のように述べている。このような考え方が現代社会に影響を与えているとすれば、それはどのような点に見られるのか具体的に述べよ。以下、古田暁監修、石井敏、岡部朗一、久米照明著『異文化コミュニケーション』120頁、有斐閣、1991年)より引用。
3. ある時点で先進的と考えられた諸外国の文物をモデルに、たとえば「明治維新」が一例であったように、自国の国情を進化させていくことを称して「近代化」と呼ぶとすれば、そこではすべてが一挙に変化してしまうのではなく、一定の過程を認めることができる。では、そのような変化の過程は一般的にどのように進んでいくのだろうか。具体例をあげて説明せよ。

4. 日本文化において「美しい」とされているものをとり上げ、それが普遍的にそうであるかどうか論ぜよ。

5. 三浦展は「消費の物語の喪失と、さまよう『自分らしさ』」という論文の中で、日本人のアイデンティティについて以下のように述べている。これを読んで、日本人のアイデンティティはどのように変化してきているか述べよ。以下、(上野千鶴子編『脱アイデンティティ』103頁、勁草書房、2005年)より引用。

6. 1919年生まれの評論家加藤周一は「日本文化の雑種性」(1955)という文章の中で、英仏の文化が純粋種であるのに対して、日本文化は雑種種であると論じている。この考えについてあなたの意見を述べよ。

II. 【言語・教育系講座の問題】 7～18

【応用言語学講座の問題】 7, 8, 9

7. 下記の用語から4項目を選択して、それぞれの概要について日本語で説明せよ。
- (1) 発話内行為
 - (2) 順序尺度
 - (3) 格助詞
 - (4) 過剰一般化
 - (5) 分散
 - (6) 言語転移
8. 下記の例から共通して読み取れる日本語の特質について、英語と対比する形で具体的に論ぜよ。(*は非文を表す。)
- (1) 太郎が私のところに来た。 / *太郎が私に来た。
 - (2) 日本の首都はどこですか。 / *日本の首都は何ですか。
 - (3) どちら様でいらっしゃいますか。 / *誰でいらっしゃいますか。
9. 「おく」と「しまう」の2語について、下記の(1)(2)の例を参考に、それぞれの本動詞としての用法と補助動詞としての用法とを関連づけて論ぜよ。必要があれば他の例を加えてもよい。
- (1) 机の上に本をおく。 / 机の中に読まない本をしまう。
 - (2) その本を明日までに読んでおく。 / その本を一日で読んでしまう。

【日本語教育学講座の問題】 10, 11, 12

10. 次の例文を参考にして、「ために」と「ように」の違いを説明せよ。(*は非文であること、「??」は非文とは言えないが容認度の低いことを表す。)
- (1) a. 私は病気を早く治す {ために/??ように} 薬を飲んだ。
b. 私は病気が早く治る {*ために/ように} 薬を飲んだ。
 - (2) a. 私は日本語を勉強する {ために/*ように} 日本に来た。
b. 私は息子が勉強する {*ために/ように} 家庭教師を雇った。
 - (3) 私は病気を早く治す {*ために/ように} 心がけている。
11. (学生が自分の指導教員に対して)
「研究計画をお書きしましたので、ご指導していただけませんか。」

この発話の誤りを正し、なぜそのように訂正する必要があるかを説明せよ。その上で、第二言語として日本語を学習する際に、待遇表現の習得がなぜ困難であるのかを論ぜよ。

12. 日本語の受動態について、その特徴を踏まえ、日本語学習者にどのように教えるかを論ぜよ。

【現代日本語学講座の問題】 13, 14, 15

13. 下記の (1) と (2) の 2 問について解答せよ。

(1) 「多義語」と「同音異義語」の違いを、現代日本語の例をあげて説明せよ。

(2) まず、以下の 1 から 6 の例文を参考にして、現代日本語の「みる」の複数の意味を記述せよ。さらに、「みる」の複数の意味の関係を説明せよ。

- 1 最近、大学でAさんをみていない。
- 2 切符を買ってくるから、ちょっとこの荷物をみててくれる。
- 3 先日、手相をみてもらった。
- 4 お風呂の湯加減をみてきて。
- 5 もう一度味をみてから火を止めたほうがいいんじゃない。
- 6 いつも、あいつばかりいい目をみるなんて、世の中は本当に不公平だ。

14. 日本語の形態素について、具体例をあげて説明せよ。

15. 日本語のリズムはモーラ（または拍）によるモーラリズムであるといわれるが、このことは音声学的にはどのようなことか、他のリズム類型と比較して説明せよ。また、リズムに関する日本語学習者の問題点について知るところを述べよ。

【日本語教育方法論講座の問題】 16, 17, 18

16. 中上級の会話のクラスで「誘う」「断る」「励ます」「ほめる」「文句を言う」などの機能シラバスによる会話授業を15週間にわたって行ってきた。このクラスでどのような修了試験を行い、それをどのように採点するか、修了試験の具体案を記述せよ。学習者へ試験についてどのように予告するか、その理由も含めて書くこと。

17. 作文授業におけるピア・レスポンスとはどのような活動を指すか。教師による添削、フィードバックと比較しながら、ピア・レスポンスの活動の特徴、長所、短所について記述せよ。

18. オンライン日本語教材の開発を行う場合、携帯電話、iPod等、現在のITの活用も視野に入れ、どのような教材を開発するのが効果的だと考えられるか。教材の内容とその利用法を具体的に述べよ。対象学習者、レベル、教授内容は任意に設定すること。